



ECOHiLUX
エコハイルクス

保管用

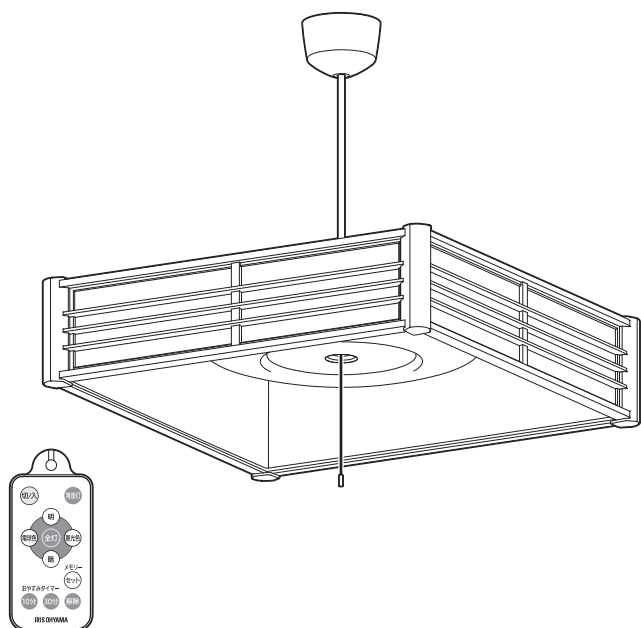
LED 調光/調色タイプ ペンダントライト

PLM6DL-J

PLM8DL-J

PLM12DL-J

取扱説明書



取り付け可能な天井配線器具形状

天井からの出しろが22mm 角型、丸型引掛シーリング・ローゼット				天井からの出しろが11mm 埋込引掛ローゼット	
角型引掛 シーリング	丸型引掛 シーリング	フル引掛 ローゼット	丸型フル引掛 シーリング	埋込ローゼット (耳つき)	埋込ローゼット (耳なし)

下記への取り付けは工事店・電気店にご相談ください。

配線だけのもの	アウトレットボックスのもの

※電気工事士の資格が必要です。

保証書付

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保存してください。
- 「保証書」は、「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

ページ

各部の名称	2
安全上の注意	5
取り付け	6
明かりをつける	8
お手入れについて	10
仕様	11
故障かな?と思ったら	11
保証とアフターサービス	裏表紙
保証書	裏表紙

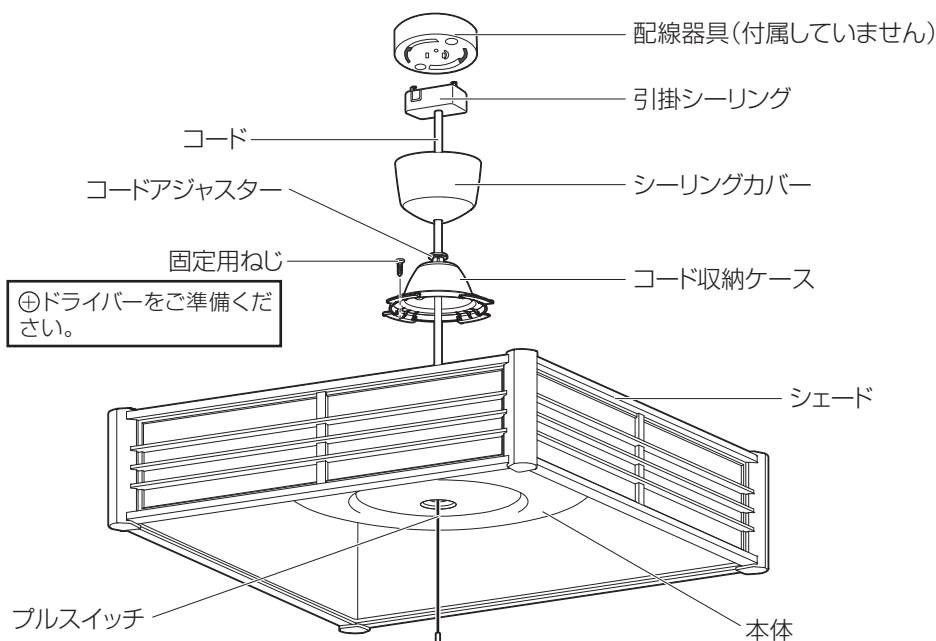
この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

IRIS OHYAMA

各部の名称

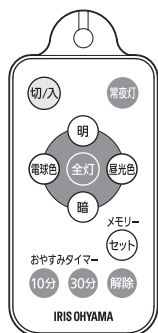
- 組み立てる前に下記の部品がすべてそろっていることを確かめください。
- 表記以外の部材は梱包材です。

■本体

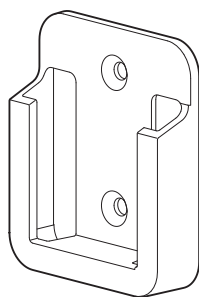


■付属品

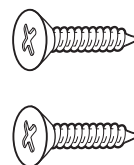
●リモコン:1台
(操作方法は9ページ参照)



●リモコンホルダー:1個



●木ネジ:2本

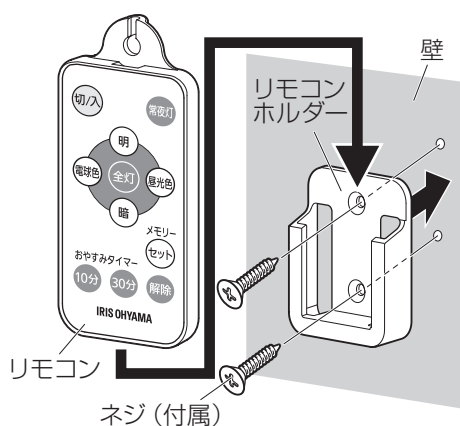


※電池がセットされています。

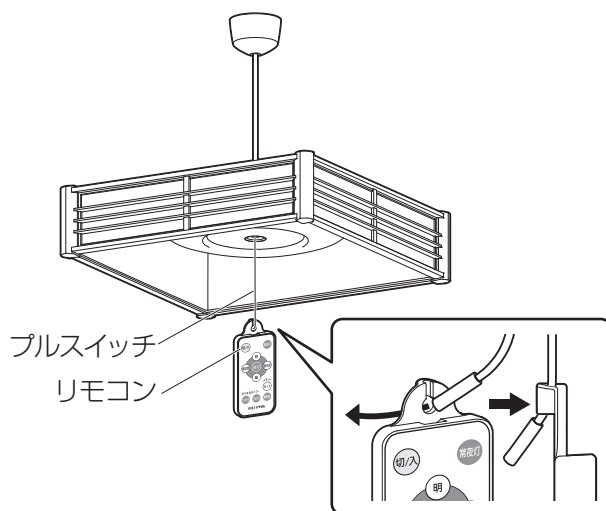
■リモコン収納のしかた

リモコンホルダーを壁に取り付け、壁掛け収納が出来ます。

(※収納した状態では操作しないでください。)



プルスイッチに下げることが出来ます。

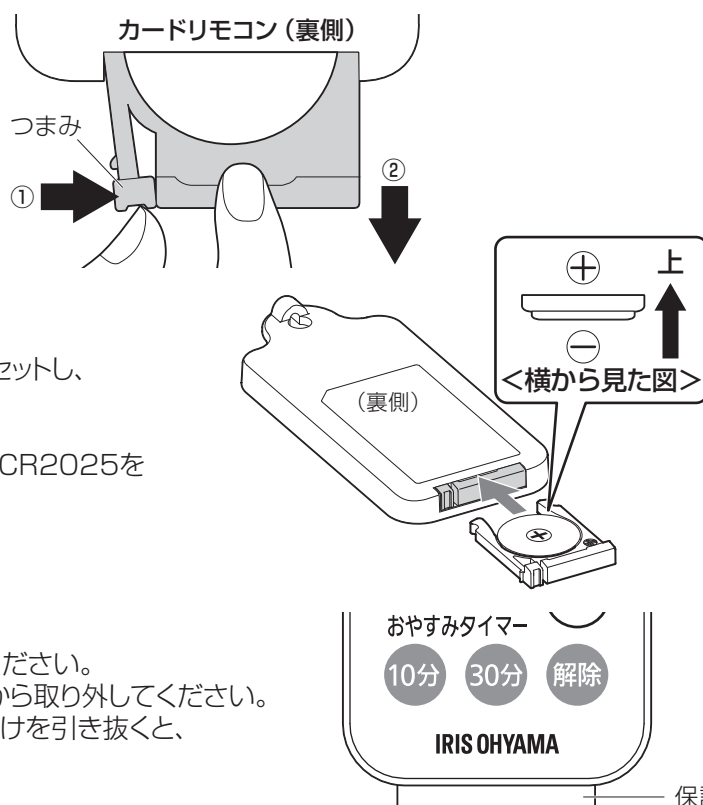


■ リモコンボタンについて

-
- ① **切/入ボタン**
器具を記憶されたお好みの明るさで点灯（メモリ点灯）させたり、消灯させます。ボタンを押すたびにメモリ点灯→消灯と切り替わります。
- ② **常夜灯ボタン**
常夜灯を点灯させます。
- ③ **全灯ボタン**
器具を100%の明るさで点灯させます。
- ④ **調光ボタン [明]**
明かりを一段階明るくします。
- ⑤ **調光ボタン [暗]**
明かりを一段階暗くします。
- ⑥ **調色ボタン [電球色]**
明かりを電球色（暖かな明かり）に調色します。
- ⑦ **調色ボタン [昼光色]**
明かりを昼光色（さわやかな明かり）に調色します。
- ⑧ **セットボタン**
調光・調色ボタンで設定したお好みの明るさを記憶します。
- ⑨ **おやすみタイマー 設定ボタン 10分**
ボタンを押してから約10分で徐々に消灯します。
- ⑩ **おやすみタイマー 設定ボタン 30分**
ボタンを押してから約30分で徐々に消灯します。
- ⑪ **おやすみタイマー 解除ボタン**
おやすみタイマーを解除します。
- IRIS OHYAMA

■電池の入れかた

- 電池の外しかた
- カードリモコンを裏がえし、
つまみを①方向に押しながら、
電池ホルダーを②方向に引き出します。
- 
- 電池の入れかた
- 新しい電池を正しい向きに電池ホルダーにセットし、
リモコン本体に差し込んでください。
- ※電池の裏表を間違えないでください。
- ※電池が消耗しましたら、市販のボタン電池CR2025をお買い求めください。



ご使用前に電池の保護シートを取り外してください。
※保護シートは電池ホルダーを引き出してから取り外してください。
(電池ホルダーを引き出さずに保護シートだけを引き抜くと、
保護シートがやぶれるおそれがあります。)

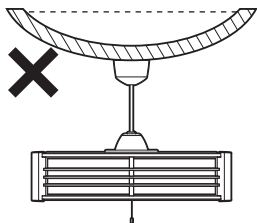


製品に最初から付属している電池はテスト用のため、新しい電池に比べて寿命が短い場合があります。リモコンが動作しにくくなった場合は新しい電池と取り替えてください。

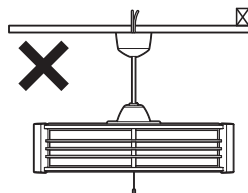
各部の名称 つづき

● 次のような場所には取り付けない

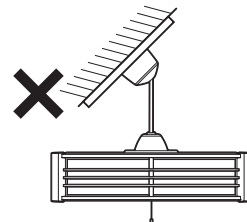
器具は天井取り付け専用です。
指定以外の場所に器具を取り付けると、
火災・感電・落下によるけがの原因となります。



簡単にたわむ天井



補強のない薄い天井
(ベニヤ板、石膏ボードなど)



傾斜天井

● 次のような配線器具には取り付けない

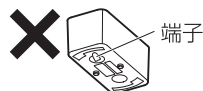
火災・感電・落下によるけがの原因となります。
配線器具の交換は、販売店・工事店にご依頼ください。
(配線器具の交換は資格が必要です)



配線だけのもの



アウトレットボックスのもの



電源端子露出



破損、またはグラつくもの

ご使用についてのお知らせ

- ラジオ、ワイヤレス方式の機器は、なるべく照明器具から離してご使用ください。雑音が入る場合があります。
- きわめて近くにあるリモコン機器（エアコンなど）の、リモコンが動作しにくくなることがあります。
- LED光源は照明内に組み込まれているため、交換できません。
- LED光源にはバラツキがあるため、同じ型式の商品でも光の色や明るさが異なる場合があります。
- 周囲の温度が高い場合や、点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。
- プルスイッチで消灯している場合、約0.5Wの電力を消費します。長時間ご使用にならない場合は、壁スイッチを切ってください。
- 防犯カメラやビデオカメラを介して照射面を見た際、カメラのモニターや録画画像に縞模様やちらつきが見える場合があります。

安全上の注意

●安全に使用いただくために下記の事項を必ずお守りください。

※ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

※配線器具の交換は有資格者による電気工事が必要です。資格のない方の工事は法律で禁止されています。

※ここに示した「警告」または「注意」項目は、お使いになる方や周囲の方々への危害防止および財産の損害防止を目的としたものです。いずれも安全に関わる重要な内容ですので、必ずお守りください。

警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

図記号の意味



してはいけない「禁止」



しなければならない「指示」



一般注意を促す

警告

 改造	器具を改造したり、部品を交換しない 器具落下・感電・火災などの原因になります。	 必ず実施	器具の取り付けは確実に行う 落下・破損・けがの原因になりますので、本書にしたがい確実に行ってください。
 調光器	調光器を使用しない 破損や発煙の原因になります。 		異常を感じたら速やかに電源を切る すぐに電源を切り、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。
 可燃物	可燃物で覆ったり、被せたり、近づけない 火災の原因になります。		交流100Vで使用する 火災・感電の危険がありますので、定格電圧以外では使用しないでください。 清掃・取り付け・取り外し時は必ず電源を切る 感電の原因になります。

注意

 直視禁止	LED光源を直視しない 目の傷みの原因になる場合があります。	 禁止	温度の高い場所で使用しない 火災の原因になりますので、高温の場所へは本器具を設置しないでください。
 接触禁止	点灯中・消灯直後は、器具に触れない やけどの原因になる場合があります。		屋外や湿気の多い場所で使用しない 故障や感電の原因になりますので、屋外や湿気の多い場所では使用しないでください。
 禁止	破損した器具は使用しない 落下してけがの原因になります。 破損した場合は修理に出してください。		薬品を使用しない 器具やカバーの変形、火災の原因になります。 殺虫剤、カビ取り剤などをかけないでください。
	温度が高くなる機器を近くに置かない 器具故障の原因になります。 以下のような設置場所は避けてください。 ・エアコン吹き出し口近くへの設置 ・真下に発熱機器の設置(ストーブ・コンロ等)	操作用プルスイッチに無理な力をかけない プルスイッチにぶら下がったり、強く引いたりしないでください。落下によるけがや本体破損のおそれがあります。	
	器具を水洗いしない 火災・感電の原因になります。 水につけたり、かけたりしないでください。 (10ページ参照)	 必ず実施	年に1回は自主点検を実施する 長期間の連続使用による発煙・発火・感電等の事故を防ぐため、定期点検を実施してください。 (裏表紙参照) 設置後8～10年経つと、自然に内部劣化が進みます。 ※参考使用条件:周囲温度30℃、1日10時間点灯、 年間3,000時間点灯した場合。 (JIS C8105-1解説による)

取り付け

●安全のため、必ず電源を切ってから行ってください。

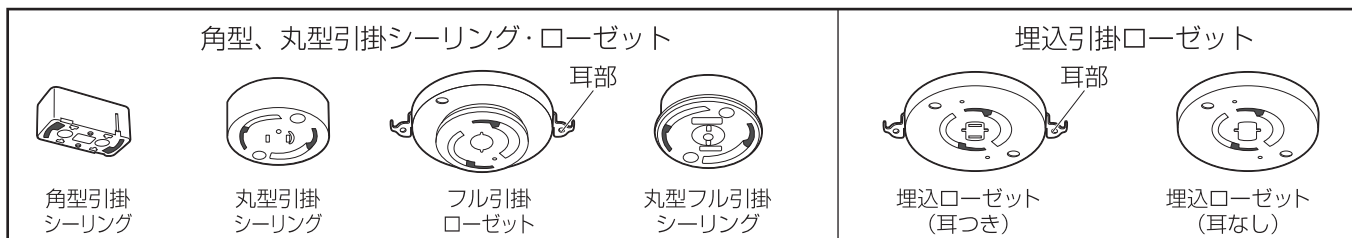
1、天井についている配線器具(引掛シーリング)を確認する

下図のような配線器具にはすぐに取り付けできます。



注意

- 高所での作業になります。
- 必ず足元の安全を確保してから行ってください。

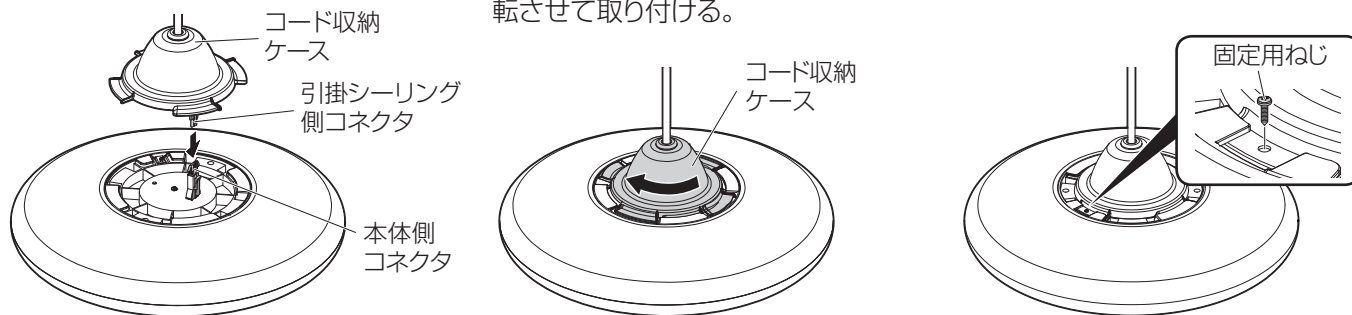


※上図以外の配線器具、または配線器具が無い配線だけのものは取り付けができません。電気店、または工事店に依頼してください。

※一般の方の工事は法律で禁止されています。

2、本体にコード収納ケースを取り付ける

- ①引掛シーリング側のコネクタを本体側のコネクタに接続する。
- ②ねじ穴を確認し、コード収納ケースを本体にセットし、矢印の方向に回転させて取り付ける。
- ③コード収納ケースと本体のねじ穴を合わせ、固定用ねじで止める。



3、コードの長さを調節する

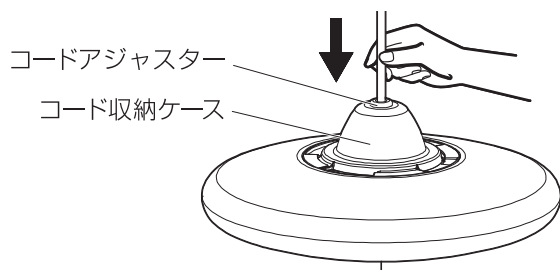
配線器具に取り付ける前にコードの長さを調節します。

コードの長さを調節する時は、やわらかい布などの上にライトを置いて調節してください。

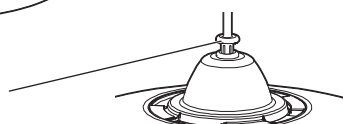
(固い床の上などで行くと、床や本体が傷つく原因になります。)

短くする

コードを、コード収納ケースのコードアジャスターの中へ押し込む

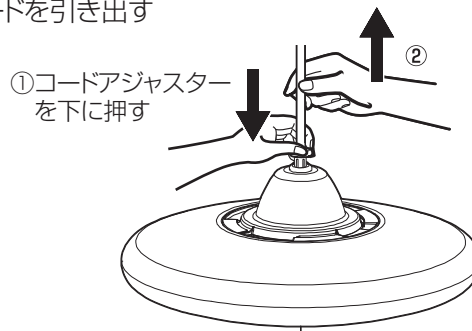


コードの長さを調節したら、コードアジャスターを上引き上げ、コードを固定します。

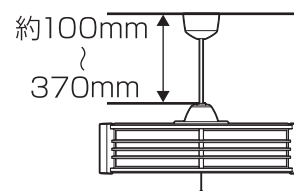


長くする

- ①コードアジャスターを下に押しながら、
- ②コードを引き出す



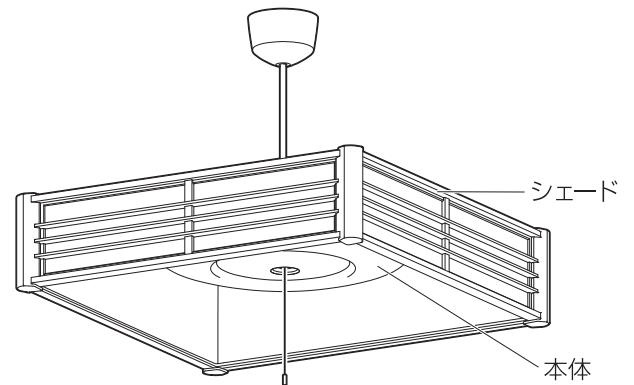
コード調節可能範囲



注意

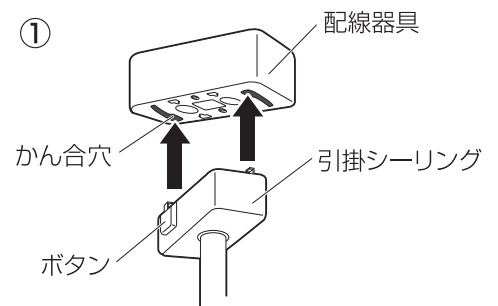
- コードを固定したら、一度コードを上引き上げ、確実に固定されていることを確認してください。
- コードアジャスターが斜めになっていると、本体が傾くことがありますので、コードアジャスターは水平になるように調節してください。

4、シェードを本体にかぶせる

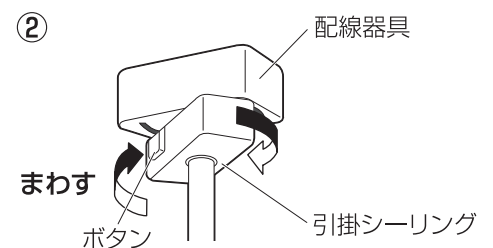


5、天井の配線器具に、引掛けシーリングを取り付ける

①配線器具のかん合穴に、引掛シーリングの引掛金具を差し込んでください。

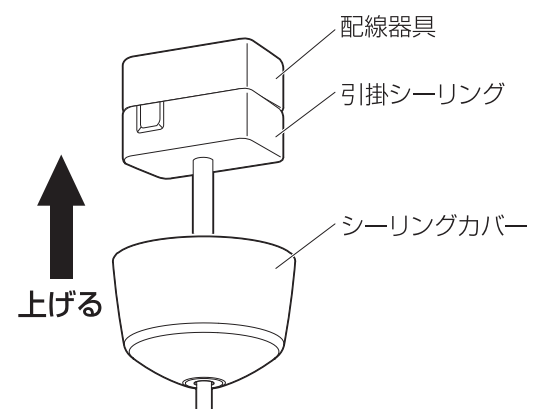
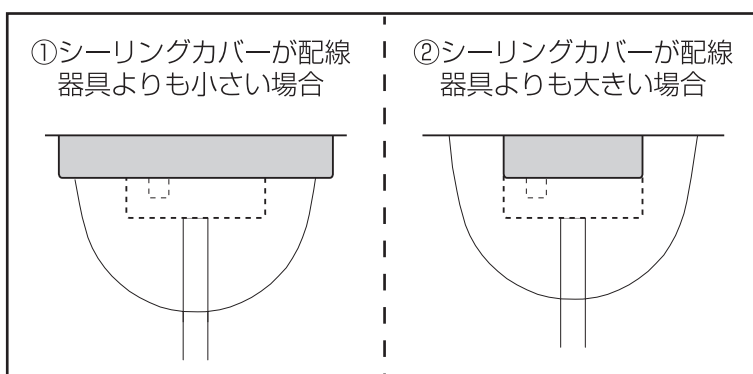


②引掛シーリングを右に回し、配線器具に取り付けます。



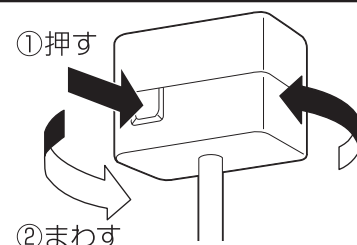
③取り付け後、引掛シーリングのボタンを押さずに左に回し切り、外れないことを確認してください。

6、シーリングカバーを引き上げる



取り外しについて

- ①引掛シーリングのボタンを押しながら
- ②引掛シーリングを左に回し、取り外します。

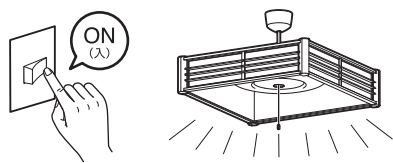


明かりをつける

壁スイッチで明かりをつける

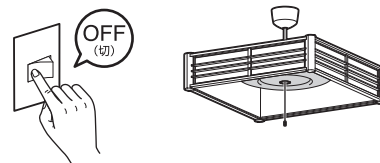
壁スイッチ ON: 再現点灯

壁スイッチを切る前の明かりを再現します。



壁スイッチOFF: 消灯

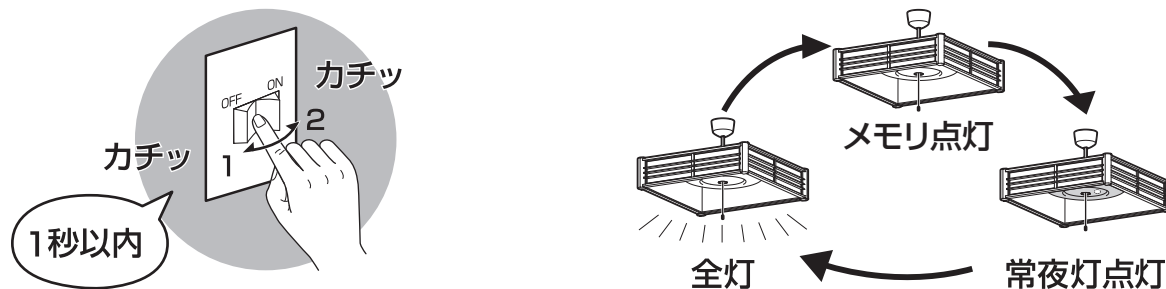
消灯します。



壁スイッチで点灯状態を切り替える

短く(1秒以内)スイッチを入切することで、点灯状態を切り替えることができます。

スイッチを入切するたびにメモリ点灯 → 常夜灯 → 全灯(100%の明るさで点灯)と切り替わります。



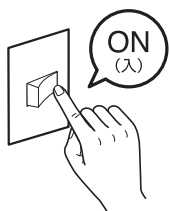
注意

- 1個の壁スイッチで2台以上の器具を操作することはおやめください。同時に切り替わらない場合があります。
- 壁スイッチをONにしても点灯しない場合は、リモコンで点灯させるか、プルスイッチを引くか、壁スイッチを短く(1秒以内)操作して点灯状態を切り替えてください。

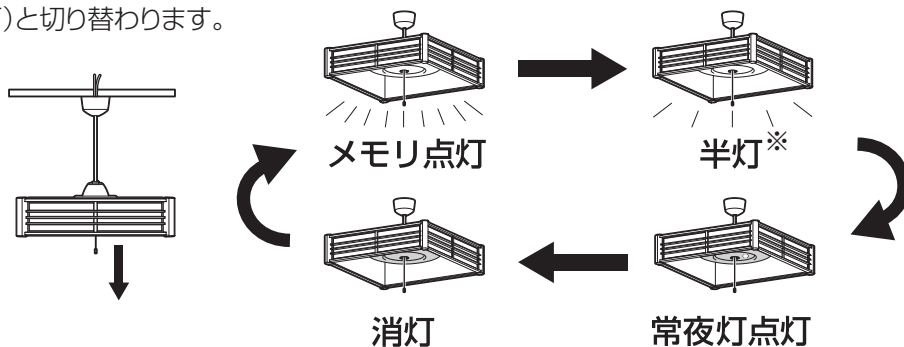
プルスイッチで明かりをつける

プルスイッチで明かりをつける場合には、壁スイッチをONの状態にしてください。

壁スイッチを「ON」にする



プルスイッチを引くたびに、点灯状態がメモリ点灯、半灯、常夜灯、明かりを消す(消灯)と切り替わります。

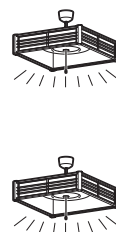


※メモリ点灯に対しての半灯になります。

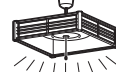
半灯について

- メモリに記憶させた明るさが充分明るい場合は、メモリ点灯時の約半分の消費電力で点灯します。
- メモリに記憶させた明るさが暗い場合には、設定した明るさに関わらず、最小点灯します。最小点灯の状態をメモリに記憶させると、メモリ点灯と半灯の明るさが同じになります。

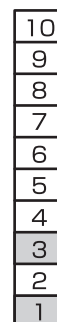
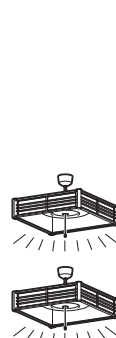
メモリ設定



半灯



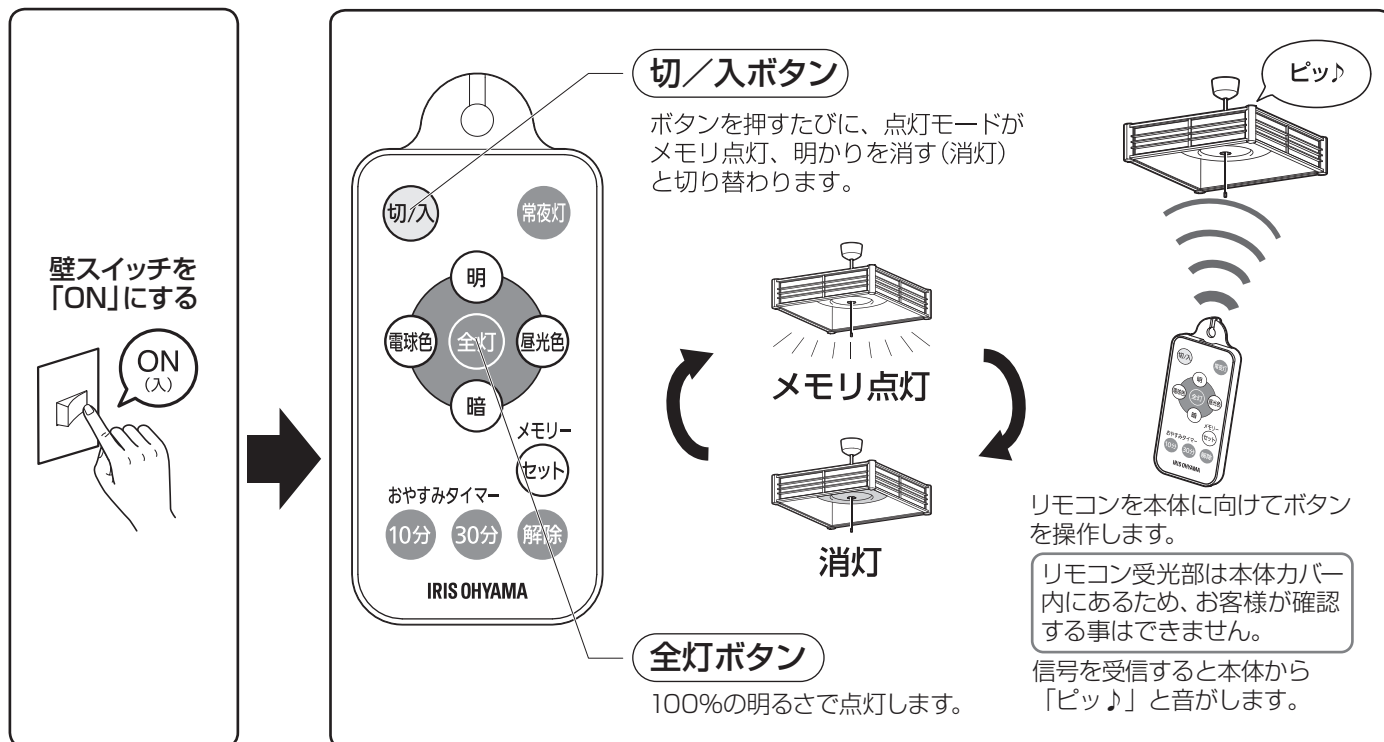
明
明るさの調節
暗



メモリ設定
半灯

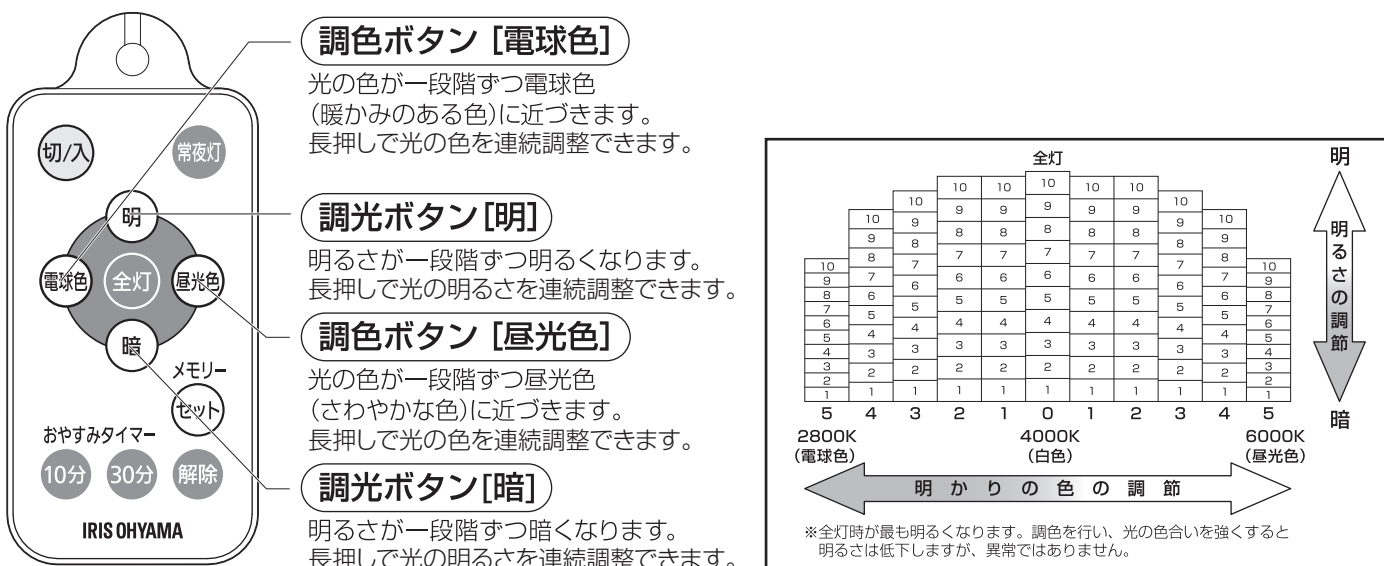
■ リモコンで明かりをつける

リモコンで明かりをつける場合には、壁スイッチをONの状態にしてください。



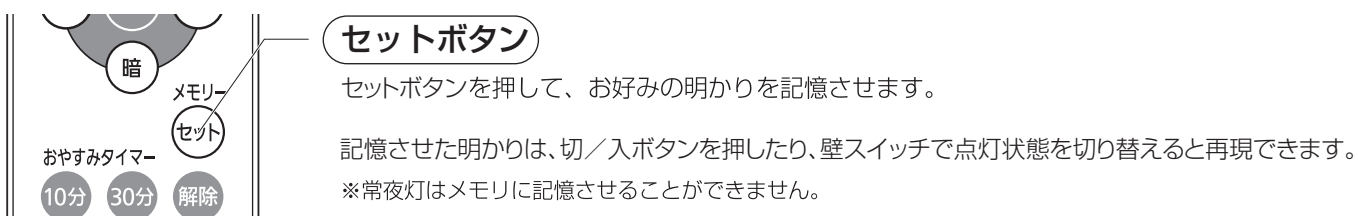
■ 明るさや色(光色)を変える

本体の明るさや色を調節し、お部屋の明かりを調節します。
ボタンを押すと「ピッ」と音がします。調光・調色範囲をこえると「ピピッ」と音がします。



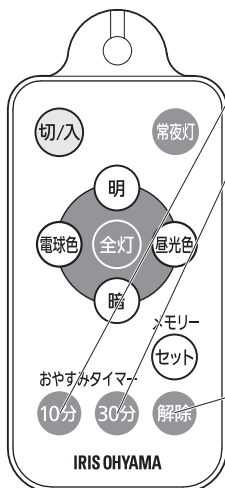
■ 明るさや色(光色)を記憶させる(メモリ)

調光ボタン、調色ボタンで設定した明るさや色を、メモリに記憶させることができます。



明かりをつける つづき

■おやすみタイマーを使う



おやすみタイマー設定ボタン 10分

ピッ

おやすみタイマー設定ボタン 30分

ピピピッ

おやすみタイマー設定ボタン10分、おやすみタイマー設定ボタン30分を押すと、消灯までの時間を設定することができます。

おやすみタイマーを設定すると、明かりが徐々に暗くなり消灯します。

おやすみタイマーの時間を延長する場合は、もう一度おやすみタイマー設定ボタンを押してください。

おやすみタイマー設定前の明るさに戻り、設定された時間で徐々に消灯します。

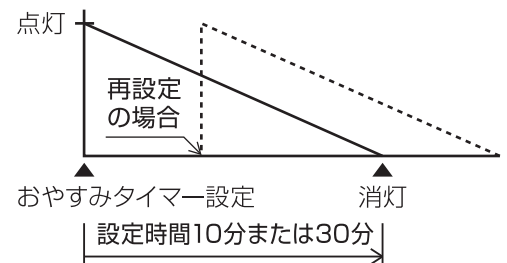
おやすみタイマー解除ボタン

ピーッ

おやすみタイマー解除ボタンを押すと、おやすみタイマーは解除されます。

※おやすみタイマー以外のボタン（調光ボタン、常夜灯ボタンなど）を押すと、操作音（ピッ）が鳴り、おやすみタイマーは解除されます。

〈おやすみタイマーの動作イメージ〉



- 常夜灯点灯時は、おやすみタイマーを使うことができません。
- おやすみタイマーで消灯させると、本体は消灯状態を記憶します。再点灯させる場合は、リモコンで点灯させるか、プルスイッチを引くか、壁スイッチを短く（1秒以内）切り替えることにより点灯してください。（8、9ページ参照）

お手入れについて

※照明器具が汚れていると暗くなります。明るく安全に使用していただくため、定期的に清掃することをすすめします。



注意

- 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。
- 消灯直後は照明器具が高温になっています。確実に冷えたことを確認してから清掃をしてください。
- 照明器具に水をかけたり、水の中につけたりして洗うことは絶対におやめください。火災、感電の原因になります。

次のものは使用しない



ベンジン



シンナー



みがき粉



タワシ



スポンジの硬い面

■照明器具

1

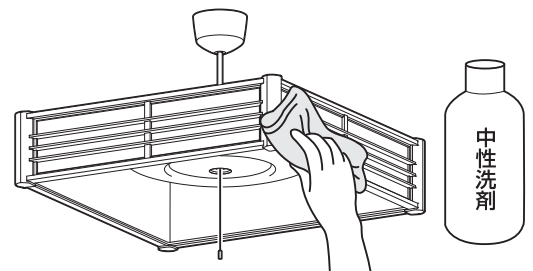
水で薄めた中性洗剤に、柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取る

2

汚れ落ちを確認後、洗剤分を拭き取る
水に浸して固く絞った布で完全に拭き取ってください。

3

仕上げに、乾いた柔らかい布で、水分を完全に拭き取る



仕様

品番	消費電力(器具)	器具光束	定格電圧	定格周波数	待機電力	サイズ*1	質量	設計寿命
PLM6DL-J (6畳用)	全灯時:29W 最小点灯時:5W	3329lm (最大点灯時)	AC100V	50/60Hz	0.5W プルスイッチ 消灯時 壁スイッチで 電源を切ると 待機電力はか かりません。	約 480×480 ×162mm	約2.1kg	40,000時間 LEDが点灯し なくなるか、光 束が70%に低 下するまでのい ずれか短い時間 を推定したもの です。製品の寿 命を保証するも のではありません。
PLM8DL-J (8畳用)	全灯時:35W 最小点灯時:5W	3869lm (最大点灯時)					約2.1kg	
PLM12DL-J (12畳用)	全灯時:45W 最小点灯時:5W	4949lm (最大点灯時)					約2.3kg	

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、下記の点を確認してください。

状 態	考えられる原因	処 置
リモコンで照明器具が 操作できない	- リモコンの電池が正しく入っていない。 - リモコンの電池が消耗している。	- 電池を正しく入れてください。 - 新しい電池に交換してください。
照明器具が点灯しない	壁スイッチがOFFになっている。	壁スイッチをONにしてください。
調色すると暗く感じる	光の色合いによって、最大の明るさは異なります。全灯時を100%とすると、電球色、昼光色へ最も調色した時は最大値が約60%の明るさとなりますが故障ではありません。	
メモリ点灯と半灯の明るさが かわらない	リモコンに記憶させた明るさが暗い場合は、メモリ点灯と半灯の差が小さくなります。(8ページ参照)故障ではありません。	
壁スイッチをONしても 点灯しない	本体が「消灯」状態になっている。	リモコンで点灯させるか、プルスイッチを引くか、壁スイッチを短く(1秒以内)切り替えることにより点灯してください。(8、9ページ参照)
リモコン操作していないのに 明かりが勝手に変化する	工場出荷時の試験点灯モードになっている。	常夜灯ボタンと解除ボタンを同時に長押し(5秒以上)するか、壁スイッチをOFFにして、試験モードを解除してください。
操作していないのに点灯する		ご使用にならない時は、壁スイッチをOFFにしてください。
操作していないのに明るさが 変わる	短い停電などにより、「壁スイッチで点灯状態を切り替える」機能が働き、点灯状態が切り替わることがあります。	壁スイッチを短く(1秒以内)操作して点灯状態を切り替えるか、壁スイッチをONにしてリモコンで切り替えてください。(8、9ページ参照)

それでも解決できないときは・・・お買い上げの販売店、またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

ご自分での分解・修理・改造はおやめください。

ペンダントライト PLM6DL-J/PLM8DL-J/PLM12DL-J

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※		年 月 日	保証期間 お買い上げ日より:5年間	ただし消耗品は除く
お 客 様	ご芳名			
	ご住所 〒			
		電話() -		
※ 販 売 店	住所・店名			
		電話() -		

販売店様へ：※印欄は必ず記入してお渡してください。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。
保証書がありませんと、無料修理保証期間内でも代金を請求される場合がありますので、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げ日より5年間です。
24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の保証期間となります。
保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

補修性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修性能部品の製造打ち切り後、6年間保有しています。
補修性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

長期で使用する場合は商品の自主点検をおすすめします。

- スイッチを入れても、ときどき点灯しないことがある。
- 本体や配線部品を動かすと点滅する。
- こげくさい臭いがする。
- 点灯時に漏電ブレーカーが動作することがある。
- 器具取付部などに変形、ガタツキ、ゆるみなどがある。
- 器具力バーや本体に破損がある。



ご使用を中止してください

故障や事故の防止のため電源を切り、必ず販売店や電気工事業者に点検をご依頼ください。
左記以外の不具合がある場合も、販売店やアイリスコールにお問い合わせください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内におきましても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居やご贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - ① 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - ② お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - ③ 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - ④ 一般家庭用以外(たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載)に使用された場合の故障及び損傷
 - ⑤ お買い上げ後の移動、輸送または什器備品などとの接触による故障及び損傷
 - ⑥ 本書の提示がない場合
 - ⑦ 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理、補修性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

アイリスオーヤマ株式会社 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号

ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせは

アイリスコール (通話料無料)

0120-311-564

修理に関するお問い合わせは

修理専用コール (通話料無料)

0800-170-7070

受付時間 平日 9:00~17:00、土・日・祝日 9:00~12:00 / 13:00~17:00

(年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

FAX でのお問い合わせは (通話料無料)

0800-888-2600

Web からの問い合わせは

<https://www.irisohyama.co.jp/support/>

メールフォームにご記入のうえ送信してください